

西エリア統合中学校 について

垣内 武司 議員(等政会)

垣内議員 中学校再編整備による西エリア統合中学校の教育委員会の取り組みは、平成24年6月に田鶴浜小中学校保護者説明会、8月に中島中学校保護者説明会を開催しています。中島地区か



らは中島中学校単独校の要望が出ています。そこで、新教育長には前教育長からどういった内容が引き継がれ、西エリア統合中学校についてどのようなか考えか伺います。

近江教育長 西エリア統合中学校については、教育委員会の大きな課題の一つとして認識をしています。平成24年12月定例会の前観田委員長、前三浦教育長が退任の挨拶でも触れら

れていた、七尾の未来を担う子どもたちにより良い学習環境の場を提供するため、早期に統合中学校の実現を果したいという熱い思いに、私も感じ入ったところ。西エリア統合中学校をできるだけ早く実現し、耐震化対策と適正規模、適正配置による充実した教育環境及び安全安心な教育環境のもとで、生徒も教員も切磋琢磨しながら質の高い教育の実現を



西エリア統合中学校建設予定地

その他の質問項目
■旧西岸小学校跡地

七尾市まちづくり 基本条例の活用について

高橋 正浩 議員(礎)

高橋議員 前回の議会で市民側が自助及び共助によって行うべきことと、行政が公助として行っていくことの役割分担について、個別具体的に確認しながら協働のまちづくりを進めるといふ答弁



がありました。地域の抱える問題、あるいは今後、自ら解決していくべき課題は多岐にわたります。個別具体的に確認するといつても、テーマによって行政側の窓口や担当が異なるので、地域が抱える問題や市民、地域の提案をどのように行政と協議のテーブルに載せていくかが市民側からは見えにくいのが現状ではないでしょうか。市民と行政と

が協議する場合は今後、必要になってくると思われませんが、考えを伺います。

不嶋市長 防災、防犯、健康、高齢者対策など地域における様々な課題や問題も地域の実情によって変わってきます。地域の熟度、温度差があることも事実です。こうした中、地域でも自分たちでできることは何なのか。自助と共助の観点から十分に話し合いを行っていただき、課題も含



能登島地域づくり協議会

その他の質問項目
■教育向上
■発信力向上

カキ殻有効活用 施設について

永崎 陽 議員(清友会)

永崎議員 事業の進捗が見えてきません。いつごろ処理施設が完成し、稼働するのか、進捗状況を伺います。また、建設予定地が軟弱地であるが、その対応としてどのような工事をするのか。カキの養殖業者



の負担軽減について、実際金額的に幾ら軽減されるのか。さらに、当初計画どおり、平成30年くらいにはカキ殻処理はできるのか、見通しを伺います。

小川産業部長 廃棄物処理施設であるため、現在の設置について協議中です。設置許可がおり次第、現地工事に着手し、9月末までに完成させ、10月より稼働することを目指して

います。軟弱地盤対策については、施設内及び周囲約6メートル程度にセメント混合による地盤改良を行い、建物についてはコンクリート杭を施工する予定です。負担軽減について、負担額は約3,500万円で、当初の事業計画での負担額7,000万円の半分程度軽減となっています。有効利用の計画ですが、笠師地内で集積されているカキ殻については、新たに暗



中島町筆染地内の一部保管場所

その他の質問項目
■施設の老朽化対応
■焼却炉解体
■ケーブルテレビ事業
■能登島電気自動車構想

介護保険など、 福祉サービス改革について

山崎 智之 議員(市民クラブ)

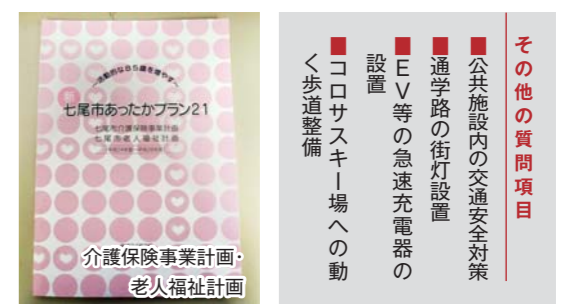
山崎議員 介護保険料値上げから1年がたちます。介護福祉サービスの現状や財源は依然として厳しいのでしょうか。さらなる値上げ等も必要な状況なのでしょうか。ま



た、高齢者負担の軽減策も消費税増税が決定した中、国の負担割合を拡充していくことは当然ですが、市としても単独の軽減策を検討すべきだと思

うが考えを伺います。

不嶋市長 要介護等認定者数は年々増加しており、1月末現在で3,329名です。65歳以上の第1号被保険者数の約19%に当たります。介護保険のサービス給付費も24年度実績見込みでは、在宅介護サービス、地域密着型サービスともに前年度比105%、施設サービスは103%と増加しています。また、第5期計画では特養50床、特定施設28床、小規模多機能型居宅介護施設2施設が整備されます。これに伴い、介護保険の給付の増加も免れないと考えています。



その他の質問項目
■公共施設内の交通安全対策
■通学路の街灯設置
■EV等の急速充電器の設置
■コロナスキー場への動く歩道整備